

## シンコー カーボンプラスコート

一材型

内装専用下地処理材

## 特徴

## 乾燥硬化型一材タイプ(非石膏系)

粉末樹脂を配合した乾燥硬化型一材タイプで目地処理と中塗りを兼ね備えた塗材です。

## 珪藻土・炭素繊維配合

吸・放湿性、断熱、吸着・吸臭効果に優れ、ひび割れ防止や強度アップにも優れています。

## アク・シミ・サビ止め効果抜群

アク・シミ・サビ止剤の配合により、石膏ボード・セメントモルタルや古壁にも施工が可能で、水引きを均一にし、上塗材の施工作業性を高めます。

## 目地処理・不陸調整が簡単

炭素繊維配合の「シンコーカーボンプラスコート」と「シンケンふせめじテープ(J・ファイバーテープ)」使用でボードの目地処理、又は古壁の不陸調整も簡単にできます。

## 工期短縮

コテ切れが良く作業性を大幅に向上させ、乾燥が早く工期短縮が図れます。

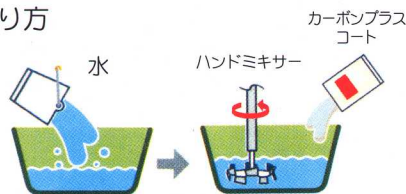
## 適応下地

- 石膏ボード
- 石膏プラスター、中塗土などの中性下地
- 完全乾燥させたセメントモルタル
- 古壁

注意 下地がベニヤ、コンパネの場合は、アク、シミの出る恐れがありますので「ガードシーラー」で下地処理をして下さい。

## 使用方法

## 練り方



・プラ船に基準加水量、1袋/10kgに対して加水量5.1ℓ(1袋/3.5kgに対して加水量1.8ℓ)が基準ですが基準加水量の8割程度の水を入れ、次に本品を投入しママコがなくなるまで十分に練り合わせた後、残りの水を加えて塗りやすい状態に調整して下さい。

・目地詰めを使用する場合、固めに練り上げて目地処理をして下さい。

## 石膏ボードをカット(切断)して貼る場合の目地処理

- ・切断したボードの継目部(目地)は必ずVカット(面取り)をして下さい。
- ・切断した目地部に石膏が露出した所は、水引止にシーラー処理をして下さい。
- ・切断面の目地部が、Vカットされていない、突き付け張りの目地には、カーボンプラスコートで目地処理はできません。

## 標準仕様

主成分	珪藻土・炭素繊維・土・粉末樹脂	
添加剤	アク・シミ・サビ止剤	
正味重量	10kg/袋	3.5kg/袋
標準加水量	5.1ℓ	1.8ℓ
標準施工量	約10.0㎡(目地共)	約3.5㎡(目地共)
標準塗り厚	1mm~1.2mm	
梱包	2袋/ケース	6袋/ケース

## ノンホルムアルデヒド商品

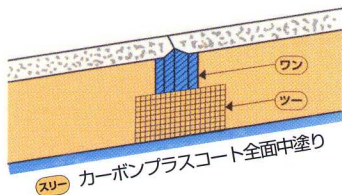
日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	0307132
放散等級区分表示	F☆☆☆☆
問い合わせ先	<a href="http://www.nsk-web.org/">http://www.nsk-web.org/</a>

目地処理と中塗りを兼ね備えた一材型の下地処理材です。

# スリーステップ工法

## ベベルボードの場合

【ベベルボードの目地処理工程】



- ワン** シンコーカーボンプラスコートで目地詰め  
○ 下地の汚れ、ホコリ等はあらかじめ、清掃して下さい。  
○ カーボンプラスコートを固練りしたものをコテの先で目地部へ十分に目詰めして、余分な塗材をコテで掻きとり平滑に仕上げして下さい。
- ツー** シンケンふせめじテープ（J・ファイバーテープ）の貼付け  
○ 目詰めした塗材の乾燥を確認してから、目詰めをした上からシンケンふせめじテープ（J・ファイバーテープ）を貼り付ける。
- スリー** シンコーカーボンプラスコートで全面に塗り付けて下さい。

## 施工上の注意

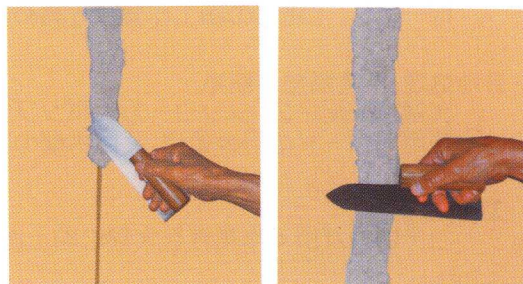
- 目地処理後、十分に乾燥させてから全面塗りを行って下さい。  
（乾燥前に追っかけて全面塗りを行うと目地部がやせる恐れがあります。）
- 全面塗付後、充分乾燥させてから上塗りを行って下さい。
- 不陸、段差がある場合は、2度塗りをして下さい。
- 古壁下地の場合は、浮き、チリ際のめくれ、弱くなった下地等は剝離の原因になりますので、施工前に必ず補強するか、剥がすかいずれかの処理後、施行して下さい。
- 特に、アク、シミ、の強い時は乾燥表面に色が出る場合があります。この時はもう一度その上から塗って下さい。
- 他の下地材、ボンド、及び骨材は絶対に混ぜないで下さい。
- 一度混練りした上に製品を追加した場合、炭素繊維の分散が悪くなる恐れがありますのでご注意ください。
- 気温が5℃以下になる恐れがある場合は、施工を避けて下さい。
- 風呂場、及び雨水の当たる場所への施工は出来ません。
- 施工後は通風を良くし、乾燥を早めて下さい。

## 取扱上の注意

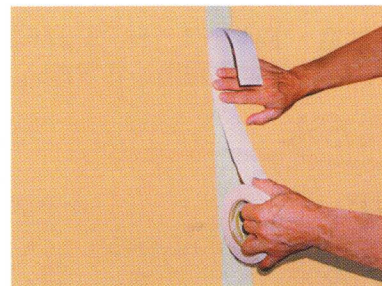
1. 作業中は目、皮膚への接触を防止するため、状況に応じて保護眼鏡、保護マスク、保護手袋を着用して下さい。
2. 作業後は手洗い・うがいをして下さい。汚れた作業服は洗濯して下さい。
3. 皮膚に付着した場合は石鹼水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときは、医師の診断を受けて下さい。
4. 目に入った場合は多量の水で洗い、医師の診断を受けて下さい。
5. 誤って飲み込んだ場合は、直ちに医師の診断をうけて下さい。
6. 容器からこぼれた場合は、清掃して下さい。
7. 空容器の処理は産業廃棄物業者に依頼して下さい。残材は固化した後、廃棄物として処理して下さい。残液は下水・河川・池・井戸・地下水などを汚染する恐れのある場所には廃棄しないで下さい。

詳細な内容が必要な場合には製品安全データシート（MSDS）を御参照下さい。

## 【施工順序】



- 1** 目地処理  
・下地のホコリ付着などの汚れは、あらかじめ拭取って下さい。  
・カーボンプラスコートを固練りし目地部に十分に詰め込み余分な塗材はコテ等で平滑にかき取って下さい。



- 2** 目地部が完全に乾燥後、その上にシンケンふせめじテープを貼って下さい。



- 3** 目地部が完全に乾燥後、カーボンプラスコートを全面に中塗りして下さい。



- 4** 上塗りはシンコーの内装材をお使い下さい。